

同じにおいをみつけよう

においをかいただけでそれが何かわかりますか？哺乳類は嗅覚の動物だといわれながら、私たちは嗅覚をどんどん鈍らせています。しかし、食事のいい匂いや、花の香りなどまだまだ匂いを楽しめるものは身の回りにもたくさんあるでしょう。

ねらい

自然物の確認をするときに、見るだけでなく、さわるだけでなく、においを嗅いで認識しようとするようになる。



達成目標

- ・自分が嗅いだ匂いについて、少しでも具体的な説明ができるようになる。
- ・匂いで発見するときのコツについて、自分の発見をいえるようになる。

導入

匂いをかいではじめてわかるものってありますか？日常生活の中で、匂いが大切なものはなんでしょう。活動についての説明。

展開

紙コップに匂いの元を入れておいて、ティッシュペーパーを覆いにして輪ゴムでとめ、匂いをかいでから同じものを探しに行く。

まとめ

活動を通して感じたこと、発見したことなどについて紹介あう。また、探している途中で、匂いで発見したものがあったら紹介あう。

実施のポイント

匂いの嗅ぎ方にもいろいろある。葉っぱを例にすると、手の平でこすって、爪で傷つけて、少しちぎって、揉んでみて、などいろいろ試してみよう。

◆所要時間 1時間

◆人数 何人でも

◆関連科目 理科、家庭

◆焦点を当てる能力 匂いをかく、表現する、探す、比べる

◆準備するもの 紙コップ数個、ティッシュペーパー、輪ゴム、匂いのする自然物

◆安全のポイント 花の匂いをかくときは、中にハチがいないかどうか、確かめてから。

評価の視点

同じものをみつけられたかどうかよりは、自然物の匂いを改めて嗅いでみて、発見したことや気づいたことを表現できるようにしたい。

発展・応用

匂いの表現は、いい匂い、いやな匂い、何々に似ている匂い、などがあるがその他に表現があるかどうかみんなで考えてみよう。

参考文献

オリジナル/「自然教育研究センタープログラム」

におい探偵団

◆ いろんな方法を使って匂いをさぐりあててみましょう。 年 月 日 名前

漂っている匂いはないかな？

くんくんするだけで匂うもの

手でこするだけで匂いがうつるもの

爪で傷つけたり、ちょっとちぎって匂うもの

◆ いろんな方法を使って匂いをさぐりあててみましょう

土の匂い

落ち葉の匂い

花の匂い

草の匂い

杉の葉の匂い

季節の匂い

キノコの匂い

水の匂い

の匂い

◆ 匂いをかいでみての感想

Blank lines for writing感想 (impressions).